

## C-STEP 事務局から

◆ C-STEP ニュースが新しくなりました。就職困難者の雇用や就労支援に関する最新の情報を広く発信するとともに、会員企業の経験交流や情報交換の場として活躍していきます。C-STEP ニュースへのご意見、ご質問は C-STEP 事務局までお願いします。

### アンケートへのご協力のお礼

2014年5月に実施いたしました就職困難者の雇用及び就労定着支援に関するアンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。6月26日時点で、合計197社からご回答をいただきました。会員企業からのご意見を踏まえまして、今年度の事業を企画していく所存です。以下、アンケートの報告を掲載いたします。

### 2014年度会員企業アンケート報告 2014年6月26日現在 合計：197

#### 1. 障がい者雇用について

##### (1) これまでに、障がい者を雇用されたことがありますか？

- |                                   |     |
|-----------------------------------|-----|
| 1. 現在、雇用している。……………                | 166 |
| 2. 過去に雇用したことはあるが、現在、雇用していない。…………… | 9   |
| 3. 雇用したことは一度もない。……………             | 22  |

##### (2) 「現在も雇用している」と答えた方へ。障がいの特性に○をつけて下さい。(複数回答可)

- |               |     |
|---------------|-----|
| 1. 身体障がい…………… | 156 |
| 2. 知的障がい…………… | 73  |
| 3. 精神障がい…………… | 59  |

##### (3) 「過去に雇用したことはあるが、現在、雇用していない」、「現在、雇用している」と答えた方へ。今後の雇用計画についてお聞かせください。

- |   |    |
|---|----|
| 1. 今後も、雇用していく具体的な計画がある。……………              | 35 |
| 2. 今は具体的な計画はないが、できるだけ雇用していきたいと考えている。…………… | 75 |
| 3. 雇用する計画はない。……………                        | 17 |

##### (4) 「雇用する計画はない」と答えた方へ。あてはまる理由にすべて○をつけて下さい。

- |  |   |
|--|---|
| 1. 業績の悪化等のために、求人そのものが出せないため。……………          | 5 |
| 2. ソフト面、ハード面での環境等、障がい者雇用の体制が整っていないため。…………… | 5 |
| 3. 職員の理解を進めていく必要があるため。……………                | 2 |
| 4. その他                                     |   |
| ー現在、重度障がい者を雇用しているため。                       |   |
| ー雇用・計画は本社で定めているため。ー雇用のニーズがないため。            |   |
| ー事業の立ち上げ時であり、現段階での具体的な計画はたてられない。           |   |
| ー障がい者雇用率をクリアしているため。ー雇用できる枠がない。             |   |
| ー他事業所で雇用するため。ー東京地区にて雇用の計画をしている。            |   |
| ー要因が充足しており採用ニーズがないため。                      |   |

##### (5) 障がい者の雇用や職場定着について、直面している問題や課題がありますか？

- |               |     |
|---------------|-----|
| 1. ある。……………   | 71  |
| 2. 特になし。…………… | 119 |

##### (6) 「ある」と答えた方へ。その理由について、あてはまるものにすべて○をつけて下さい。

- |   |    |
|---|----|
| 1. 担当者及び社員の障がい特性への理解が十分でない。……………  | 7  |
| 2. 障がい者社員と職場担当者とのコミュニケーションがうまくいかない。……………  | 8  |
| 3. 担当者及び社員の職場での援助支援のノウハウが不足している。……………   | 15 |
| 4. 障がい者社員の障がい特性やスキルにあった業務への配置や創出が難しい。……………  | 59 |
| 5. その他  |    |
| ー高齢化に伴う地域移行について。  |    |
| ー事務所のバリアフリー化。ー住民とのコミュニケーション。ー就労環境の整備が不十分。ー今後、知的障がいや精神障がいの方の雇用、職場定着を進める上での知識、ノウハウが不足している。ー障がい者雇用納付金制度に伴う障害者の労働時間数。ー障がい者の方の家庭環境が出勤の妨げになった事例があった。ーサービス業に求められる接遇面に課題あり。 |    |

##### (7) C-STEP が、障がい者を雇用している企業、あるいは雇用を予定している企業のニーズに基づいた職員研修を実施した場合、参加したいと思いませんか？

- |                         |     |
|-------------------------|-----|
| 1. ぜひ参加したい。……………        | 14  |
| 2. できれば参加したい。……………      | 107 |
| 3. 特に、参加したいとは思わない。…………… | 61  |

##### (8) 「参加してみたい」「取り上げてほしい」研修のテーマについて、ご要望をお聞かせください。

- |                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| 1. 精神障がい者や発達障がい者の特性理解と職場での支援について    | 84 |
| 2. 障がい者社員とのコミュニケーションの進め方について        | 60 |
| 3. 障がい者社員が利用している医療機関との連携について        | 12 |
| 4. 障がい者社員の家族との関係・連携について             | 15 |
| 5. 障がい者社員との支援機関（卒業した学校等）との関係・連携について | 14 |
| 6. 障がい者社員の復職支援について                  | 11 |
| 7. その他                              |    |
| ー効率的な採用方法について。ー障がい者が必要とする設備について。    |    |

##### (9) 研修の実施時期について、参加しやすい時期や参加しにくい時期があればお聞かせ下さい。

- |            |  |
|------------|--|
| 1. 参加しやすい月 |  |
| 2. 参加しにくい月 |  |

\*一人でも多くの方に参加いただけるよう日程を調整したいと思います。

#### 2. 障がい者雇用以外のテーマについて

##### (1) 障がい者雇用以外で参加したい研修のテーマがありますか？

- |             |    |
|-------------|----|
| 1. はい……………  | 92 |
| 2. いいえ…………… | 85 |

##### (2) 「はい」と答えた方へ。そのテーマに○をつけて下さい。

- |   |    |
|---|----|
| 1. 一人親の人の雇用促進や就業支援について……………                   | 5  |
| 2. 外国籍の人の雇用促進について（異文化理解等）……………                | 20 |
| 3. 「ジョブコーチ（職業支援員）」の必要性和役割等について……………           | 20 |
| 4. 職場における担当者等の業務遂行援助や職場介助者の必要性和役割等について……………   | 23 |
| 5. 「メンタルヘルスセルフケア」の内容について……………                 | 54 |
| 6. 「生活困窮者自立支援法（2015年4月施行）」の内容と企業の役割等について…………… | 16 |
| 7. その他  |    |
| ー高齢者雇用に関するテーマ                                 |    |
| ー障がい者差別解消法について                                |    |



編集・発行

一般社団法人 おおさか人材雇用開発人権センター (C-STEP)  
〒540-0028 大阪市中央区常盤町1丁目3-8  
中央大通 FN ビル 14 階  
tel.06-6940-6600 fax.06-6910-6033  
URL(ホームページ)http://www.c-step.or.jp

# 第27号 C-STEP ニュース

人間を主役にした人材雇用開発



## C-STEP2014 年度通常総会が開催

### 雇用・就労情勢の変化に対応した就業・定着支援を通じた人権確立を大阪から！

2014年度 C-STEP 通常総会が、6月25日（水）大阪市立阿倍野区民センター大ホールで、1022 会員のうち 653 会員（委任状を含む）の出席を得て開催されました。



2014年度通常総会

松本隆理事長の挨拶の後、まず松井一郎大阪府知事および橋下徹大阪市長の祝辞が代読され、引き続き、北口末廣部落解放同盟大阪府連合会委員長から祝辞をいただきました。

次に、第7期 C-STEP 評価・顕彰会員の感謝状の贈呈式がおこなわれました。第7期は、昨年度同様、評価期間を1年間とし、評価を「就職マッチング」「人材開発・養成貢献」「会員貢献」の3つの分野でおこないました。



来賓の方々

今回は、326 会員のエントリーがあり、2014年5月9日に開催された第7期評価・顕彰検討委員会で、「会員貢献度評価顕彰制度」に基づき審査した結果、34 会員に「就職マッチング賞」、29 会員に「人材開発・養成貢献賞」、6 会員に「会員貢献賞」が決定しました。

「就職マッチング賞」は、市町村の「地域就労支援センター」を通じ、就職について様々な困難を抱える人たちの雇用や支援学校等の生徒の雇用について大きな成果をあげた会員に贈られます。「人材開発・養成貢献賞」は C-STEP が実施する講座受講生の職場実習の受け入れや「人材開発・養成情報カード」や「職場実習エントリーカード」の提出等に積極的に取り組んだ会員に贈られます。また、「会員貢献賞」は、C-STEP の運営や取り組みに積極的に関わるとともに、大阪府の「障がい者工賃倍増計画推進事業」に協力し、積極的に授産施設に物品購入や業務発注等を行った会員に贈られます。

総会では、「就職マッチング賞」に選出された 34 会員を代表して、学校法人近畿大学に、向井大阪府商工労働部労働政策監から大阪府知事名の感謝状が授与されました。また、同じく株式会社ジェイアール西日本メンテックに、梶本大阪府市民局長から、大阪府知事名と大阪市長名の感謝状が授与されました。引き続き、「人材開発・養成貢献賞」に選出された 29 会員を代表して、株式会社ダスキンに、向井労働政策監から大阪府商工労働部長名の感謝状が授与されました。また、同じく株式会社ワークコムに、梶本市民局長より、大阪府商工労働部長名と大阪府市民局長名の感謝状が授与されました。最後に、「会員貢献賞」に選出された 6 会員を代表して、イトキン株式会社に、松本理事長より理事長名の感謝状が授与されました。



感謝状受領代表会員の皆さん

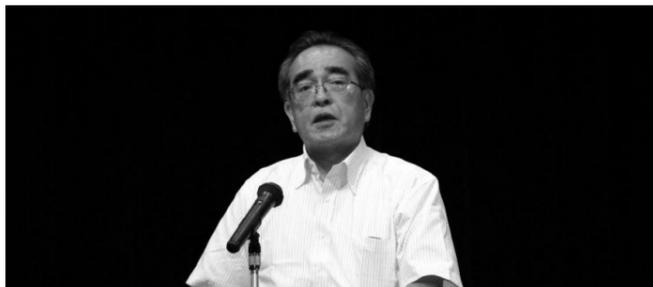
感謝状贈呈式の後、日産大阪販売株式会社の島川一彦さんと株式会社ジェイアール西日本メンテックの石橋正敬さんが議長団に選出され、通常総会の議案審議に入りました。

第1号議案の「議事録署名人選任」の後、第2号議案の「2013年度事業実施報告」を元大阪府商工労働部副理事の中岡章良

理事から、第3号議案「2013年度決算報告」をC-STEP 谷元達夫事務局長から、第4号議案「2013年度監査報告」を阪急電鉄株式会社の高山直樹監事から、一括して説明・報告を行い、その後審議に入り、提案どおり、第2号議案から第4号議案は承認されました。

次に、第5号議案「役員選任」について、谷元事務局長より、役員が辞任することになったことから、去る5月21日に開催された第1回理事会で推薦された10名の役員の提案が行われ、全員が承認されました。また、第6号議案「2014年度事業計画」について大阪ガス株式会社の淡路匡理事、第7号議案「2014年度収支予算」について谷元事務局長が一括して説明を行い、提案どおり、第6号・第7号議案は承認されました。

次に、第8号議案「役員退職慰労金の支出」について、谷元事務局長の説明の後、松本理事長から補足説明があり、提案どおり承認されました。



井上龍生理事の閉会挨拶

最後に、大阪同和・人権問題企業連絡会理事長の井上龍生理事が閉会の挨拶を行い、すべての議事が終了しました。

また、同センターにおいて第2回理事会が開催され、理事の互選により、理事長に藤田理事、副理事長に北口理事、常務理事に谷元理事が選任されました。

出席いただいた来賓のみなさん

団体名	氏名
大阪府	向井商工労働部労働政策監
大阪市	梶本市民局理事
部落解放同盟大阪府連合会	北口執行委員長
大阪労働局	藤本職業対策課課長補佐
(一財)大阪府人権協会	村井代表理事
大阪同和・人権問題企業連絡会	井上理事長
大阪企業人権協議会	元家副会長
(一社)公正採用人権啓発推進センター	藤原理事長
(一社)部落解放・人権研究所	谷川業務執行理事・所長
熱と光の会	中田会長

(註) 敬称略・順不同

大阪府商工労働部長・大阪市民市長感謝状 人材開発・養成貢献賞 29 会員

会員名	
西日本旅客鉄道株式会社	阪急電鉄株式会社
株式会社ダイエー	大代興業株式会社
日本生命保険相互会社	株式会社ダスキン
株式会社ニュージェック	JFE 継手株式会社
イトキン株式会社	大和ハウス工業株式会社
社会福祉法人リベルタ	株式会社マルタマフーズ
大阪ガス株式会社	関西電力株式会社
星光ビル管理株式会社	株式会社近商ストア
株式会社京阪百貨店	田辺三菱製薬株式会社
ダイキン工業株式会社	サントリーホールディングス株式会社
イオンリテール株式会社	美津濃株式会社
株式会社ジェイアール西日本メンテック	株式会社レナウン
株式会社ワーコム	株式会社ロイヤルホテル
上新電機株式会社	昭和シェル石油株式会社
株式会社クボタ	

(註) 順不同

C-STEP 松本理事長感謝状 会員貢献賞 6 会員

会員名	
積水ハウス株式会社	日本生命保険相互会社
株式会社サクセス	イトキン株式会社
新関西国際空港株式会社	株式会社 IMAGICA

(註) 順不同

大阪府知事・大阪市長感謝状 就職マッチング賞 34 会員

会員名
株式会社阪食
阪急電鉄株式会社
イオンリテール株式会社
株式会社ダスキン
近畿日本鉄道株式会社
全日本空輸株式会社
株式会社ジェイアール西日本メンテック
株式会社マルタマフーズ
上新電機株式会社
株式会社西島製作所
株式会社近商ストア
株式会社クボタ
株式会社ニュージェック
サントリーホールディングス株式会社
株式会社サンキ
株式会社アスウェル
コスモ警備保障株式会社
美津濃株式会社
株式会社商工組合中央金庫
社会福祉法人リベルタ
株式会社栗本鐵工所
積水ハウス株式会社
学校法人近畿大学
株式会社ワーコム
株式会社損害保険ジャパン
清水建設株式会社
株式会社ダイエー
星光ビル管理株式会社
近鉄ビルサービス株式会社
株式会社ロイヤルホテル
株式会社京阪百貨店
株式会社レナウン
ダイキン工業株式会社
西日本旅客鉄道株式会社

(註) 順不同

# C-STEPの事業

「人材スキルアップ定期コース」職場実習を実施します。

C-STEP は昨年度同様、就職困難者を対象に、受講者のニーズやレベルに合わせてスキルアップコースを実施します。コースは、企業の職場実習を含む、就職に即役立つスキルを取得できる内容になっています。職場実習の受け入れに、あるいは受講にご関心のある方は、06-6940-6600(事務局)までご連絡ください。

日程は以下の通りです。

- 2014年7月28日(月)～8月1日(金) 「就職歴の長い方対象」コース(10日間)
  - 2014年10月27日(月)～11月7日(金) 「就職歴の短い方対象」コース(14日間)
  - 2015年2月23日(月)～3月6日(金) 「障がいのある方対象」コース(15日間)
- 場所は、エルおおさか南館12階(企業の職場実習以外)  
\* 随時申し込むコースもあります。

大阪府教育委員会の委託事業「雇用創出基金事業(雇用拡大プロセス) 支援学校卒業生職場定着支援者育成事業」を受託しました。

当法人では2014年度、大阪府教育委員会の公募事業「雇用創出基金事業(雇用拡大プロセス) 支援学校卒業生職場定着支援者育成事業」を受託しました。



「雇用創出基金事業(雇用拡大プロセス) 支援学校卒業生職場定着支援者育成事業」の開所式

事業期間は2014年6月1日から2015年12月末日までの19ヶ月です。前期・後期の2期にわけ実施しますが、前後期とも、就職が困難な方等を定着支援サポーター・定着支援員として新規雇用し、支援学校等卒業生の職場定着支援をめざす事業です。具体的には、介護職員初任者研修等の資格を取得しながら支援学校生徒への模擬職場実習を実施したり、支援学校等卒業生の就労企業を訪問し、支援学校等と連携しながら職場定着を支援していきます。さらに、支援学校等卒業生の職場定着支援のノウハウを、事例集にまとめ発行し、支援学校等に提供していきます。最後に、同事業は、新規雇用者自らが同事業を通して得た知識や経験、資格をいかせる職場に就職することをめざします。

同事業により、誰もが職場で業務面や生活面などの様々な悩みを気軽に相談でき、いきいきと仕事ができるための定着支援が一層充実するように、また新規雇用者の安定就職が実現できます

ように、C-STEP を支援していただいております皆様方には、これからも引き続きご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

雇用問題研究会を11月7日(金)に開催いたします。

会員企業が直面している就職困難者の雇用に関わる課題について会員の皆様と考える場、雇用問題研究会を今年度も開催いたします。ぜひ、ご参加ください。

テーマ: 企業のメンタルヘルスへの取り組み(仮題)

講師: 渡辺洋一郎(公社)日本精神神経科診療所協会会長

場所: 大阪市立阿倍野区民センター大ホール

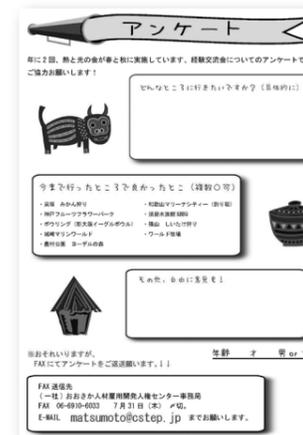
日時: 11月7日(金)14時から16時

「熱と光の会」春の経験交流会を行いました。

「熱と光の会」とは、C-STEP 会員企業へ就職した人達で組織された親睦会で、現在300名以上の個人会員が活動しています。今年度の春の経験交流会は、5月31日(土)に兵庫県「ヨーデルの丘」でおこなわれました。参加人数は、54名でバス1台を貸し切った開催となりました。

当日は、移動時間が片道2時間を越えましたが、車内ではゲーム等で楽しく盛り上がりました。「ヨーデルの丘」に到着後、まず参加者は班に分かれてバイキングで舌鼓をうち、その後、動物と触れ合う時間を持ち、それぞれ好きな動物を交えながら参加者同士の交流を深めました。参加者は日頃、違う職場で活動しているので、こうした交流を通して参加者同士が違った気持ちで向き合える場合は、大変貴重です。また、仕事に関すること、人間関係の悩みなどを言い合える機会にもなっています。

「熱と光の会」会員の交流をさらに推進するため、今年秋にもこうした経験交流会を予定しています。職場定着の大きな場として、また人間関係を築く場として今後も行っていきたいと考えていますので、会員企業の皆様には、引き続きこうした取り組みのご理解とご配慮をいただきますようよろしくお願いいたします。



アンケート



「熱と光の会」ニュース

## 第7期 C-STEP 評価・顕彰システム検討委員会委員名簿

奥田 均	近畿大学人権問題研究所教授
梶川 伸	大阪経済法科大学客員教授・元毎日新聞大阪本社論説委員
吉野 隆之	大阪府商工労働部雇用推進室就業促進課長
山藤 昭雄	大阪市市民局ダイバーシティ推進室雇用・勤労施策課就労対策担当課長
内海 義春	大阪企業人権協議会事務長

(註) 敬称略・順不同

## 理事長就任のごあいさつ

この度、理事長に選任されました、大阪ガス株式会社取締役・常務執行役員の藤田です。これまで6期・11年にわたり理事長を務められ多くの功績を残された松本前理事長に代わり、理事長の大役を担うことになり身の引き締まる思いです。

1981年の法人設立以来、大阪府の補助団体であった関係もあり、理事長はこれまで大阪府OBの方が務められ、企業代表としては私が初めとお聞きしました。このたび、理事長に「是非とも」との強い要請をいただき、「1000社近くある会員企業の代表、という立場から頑張れ」という意味であろうと私なりに考え、お引き受けさせていただきます。その役割の大きさに加えて、仕事上での時間等の制約など、私自身、大変微力ですし、「人権」についてもこれからしっかりと学んでいかなければいけないと考えています。会員の皆様や北口副理事長をはじめとした役員の皆様、そして事務局のお力添えをいただきながら、私なりに精一杯頑張っていく決意ですので、何卒よろしくお願いたします。

ご承知のとおり、当センターは、1981年7月に、「同和地区住民の雇用を通じて、人権尊重の社会づくり」の推進をめざし、大阪府・市をはじめとする行政機関、企業および住民の三者が一体となり、C-STEPの前身である「社団法人同和地区人材雇用開発センター」が設立されました。以来、大阪府をはじめ、大阪府内の市町村と連携し、会員企業の皆様のご理解とご協力をいただき、同和地区の人たちの積極的な雇用を進め大きな成果をあげてきました。

しかし、2002年3月末に同和行政に関わる「特別措置法」が終了したことで、全国的にも同和行政そのものが大きな転換点を迎えることになりました。当センターでは、対象を「同和地区住民」から「就職に際して困難な課題を抱える府民」に拡大するとともに、これまでの取り組み成果を、さらに「人権」という普遍的課題へと広げていくことをめざし、2002年2月に、「社団法人おおさか人材雇用開発人権センター(C-STEP)」と名称も変更し、再出発することになりました。

また、2008年6月に出された「大阪府財政再建プログラム(案)」で、当センターに対する大阪府の補助金廃止が示される中、同年12月に「あり方検討委員会の報告書」をまとめ、事務局員の削減や賃金体系の見直し等、これまでにない改革を行ってきました。同時に、「就職困難者」就労支援の新たな事業として、2008年度から大阪府内の支援学校等と連携して、障がいのある生徒への就労支援の取り組みを開始しました。会

員企業の皆様のご積極的なご理解とご協力をいただき、多くの生徒さんの雇用実現や職場実習の提供等、大きな成果を上げることができ、今日では事業の大きな柱の1つとなっています。こうした中、今年の3月に一般社団法人への移行手続きを終えました。

一方、近年の国の取り組みとして、例えば、2013年4月の改正「障害者雇用促進法」施行で、障がいの法定雇用率が引き上げられ対象事業所が拡大されました。さらに、同年の6月には「障害者差別解消法」が公布され(2016年4月施行)、雇用面での差別解消に向けては、「障害者雇用促進法」に基づいて実施することとなっています。このように、障がい者差別の解消や自立支援と関わって状況は大きく変わってきており、企業や行政などに求められる役割や責任もより大きくなってきました。当センターとしても、これまでの取り組みをさらに進めていきたいと考えています。

さらに、2013年12月には「生活困窮者自立支援法」が公布され(2015年4月施行)、この中で、市町が行う「就労準備支援事業」や、大阪府等の民間の事業者が行う「就労訓練事業」(いわゆる「中間的就労」)のうち、一定の基準を満たすものを認定し、事業を推進していくこと等が事業の柱となっており、当センターとしてもこうした新たな動きを注視していきたいと考えています。

この度の総会で、私を含めて5名の理事が交代し、今年度から事務局長をはじめ、新たな職員も増えました。全員で一丸となって頑張っていく決意ですが、まだまだ不慣れな点多々ありますので、会員や関係者の皆さんには、これまでも増して暖かい叱咤激励とご支援・ご協力をお願いして、理事長就任のごあいさつとさせていただきます。

2014年6月

理事長 藤田 正樹



## 2014年度 役員一覧

2014年6月末日現在

役名	氏名	所属・役職等	役名	氏名	所属・役職等
理事長	藤田 正樹	大阪ガス株式会社 取締役・常務執行役員	監事	高山 直樹	阪急電鉄株式会社 人事部部長
副理事長	北口 末廣	近畿大学人権問題研究所 教授		宮前 茂	大阪府中央卸売市場管理センター株式会社 統括
常務理事	谷元 達夫	(一社) おおさか人材雇用開発人権センター 事務局長	顧問	出田 善蔵	元 大阪ガス株式会社 副社長
	赤井 隆史	(公財) 大阪人権歴史博物館 評議員		内海 義春	前 大阪企業人権協議会 事務長
理事	淡路 匡	大阪ガス株式会社 人事部人権啓発センター 所長		杉本 佳英	元 大阪市市民局 局長
	井上 龍生	大阪同和・人権問題企業連絡会 理事長		華崎 正英	元 大阪府商工労働部 労働政策監
	中岡 章良	元 大阪府商工労働部雇用推進室 副理事			
	山崎 正道	大阪同和・人権問題企業連絡会 常務理事			

(註) 敬称略・順不同

# C-STEP2014 年度通常総会で承認されました 2014 年度事業計画を紹介します。

## 1. 人材開発・養成事業

### (1) 人材スキルアップ定期コース

昨年度同様、大阪府下在住の就職困難者を対象に、7月期「職種拡幅・職域発見」コース、10月期「じっくり職場実習」コース、2月期「障がい者雇用」コースを受講者のレベルに合わせ、職場実習を含めて実施します。

### (2) 人材スキルアップ随時コース

就職困難者を対象に、受講者レベルに合わせ、随時会員企業による職場実習を実施します。

### (3) 人材キャリアアップコース

会員企業において3ヶ月間～12ヶ月間の非正規雇用契約を結び職場実習を実施します。

### (4) 人材キャリアアップ C-STEP コース

C-STEP 事務局内で10日間の職場実習を随時実施します。この実習期間内に履歴書や職務経歴書の書き方及びハローワークの求人の見方などをアドバイスし、就職の支援をします。

### (5) 大阪府域支援学校等との連携

支援学校等の障がいのある生徒に対する職場実習の提供や、雇用支援を実施するための連携方策を構築していきます。

### (6) 有限責任事業組合大阪職業教育協働機構との連携

就職困難者及び障がいのある生徒の就労支援を進めるため、有限責任事業組合大阪職業教育協働機構と連携し、能力開発事業を実施します。

## 2. 就職マッチング事業

### (1) 就職マッチングへのエントリーと職場見学会

就労希望を持つ大阪府内の就職困難者及び支援学校等の生徒を対象に、求人のある会員企業の職場見学会を実施し、雇用の促進を図ります。

### (2) 会員企業訪問

就職困難者及び障がいを持つ方の雇用・就労促進のため、また C-STEP 事業を円滑に進めるため随時会員企業の相談を受け付けながら会員企業訪問を行い、連携をはかります。

### (3) 在職者の職場適応

大阪府就労支援ケース連絡協議会から推薦されて雇用した方の支援を、大阪府就労支援ケース連絡協議会、地域就労支援センター、各障害者就業・生活支援センター、会員企業と連携協議して職場定着に向けた取り組みを実施します。

### (4) 会員貢献度評価顕彰 (3月実施予定)

就職困難者等の就労支援を通じて人権課題に積極的に取り組む社会貢献企業の評価を行います。

## 3. 情報発信・研究開発事業

### (1) 広報・情報提供

各種事業情報、会員情報、雇用・就労情報等を個人情報の保護に努めるとともに、セキュリティにも配慮し、効率的にホームページ(随時更新)やニュースレター(今年度3回発行予定)などで発信します。

### (2) 雇用問題研究会(11月7日開催予定)

就職困難者の就労支援をはかるため、今年度は「メンタルヘルスケア」をテーマに11月7日(金)阿倍野区民センターで開催する予定です。

### (3) 会員情報の収集

毎年度提出していただいています会社概要届や市町村連絡票の内容に基づきデータベースを更新し、常に最新の情報を発信します。

### (4) 地域就労支援センターとの連携

多様化、複雑化している就職困難者が抱える課題に対応するため地域就労支援センターのコーディネーターとの連携強化を図ります。

### (5) 人と仕事をつなぐ企業のつどい

就職困難者の現状とそれを支援する様々な取り組みを紹介し、地域や支援機関と連携するため、今年度は「障がい特性と職場定着支援」をテーマに2月阿倍野区民センターで開催する予定です。

## 4. その他事業

### (1) C-STEP への加入勧奨

就職困難者等の就労支援を通じて人権課題に取り組む社会貢献企業の拡大を図るために、大阪府、市町村とともに大阪企業人権協議会、業界団体などの連携強化を図り、C-STEP への加入を勧奨します。

### (2) 「えせ同和行為等」根絶するための情報提供と相談

2007年6月5日に設立された「えせ同和行為等根絶大阪連絡会議」に加盟し、許されない「えせ同和行為等」の根絶をめざして情報提供を行い、また会員企業からの相談事業を実施します。

### (3) 就職者組織「熱と光の会」の支援(10月26日開催予定)

就職者で組織された「熱と光の会」への加入促進を図るとともに、同会を支援します。秋の交流会は10月26日開催予定です。

### (4) 国および自治体における就職支援にかかわる基金事業等への応募

国および自治体が委託する就職支援事業およびそれに関わるプロポーザル事業へ積極的に応募します。今年度はすでに6月から「雇用創出基金事業支援学校卒業生職場定着支援者育成事業」を受託し、実施しています。